



### 旧国鉄士幌線コンクリートアーチ橋梁群

~役目を終えても美をとどめる第1級の鉄道遺産を活用したまちづくり【所在地等】上士幌町

(申請団体名:仮)アーチ橋保存活用実行委員会)

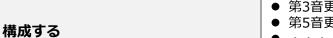
#### ●北海道にとってのストーリー(遺産価値) 【渦夫】

## 遺産の ストーリー

(その遺産は北海道にとってどのような価値を有しているのか)

上士幌のコンクリートアーチ橋梁は、昭和初期に十勝内陸の産業開発を目指した旧国鉄士幌線に建設 されたもので、市民と産学官が一体となった保存運動の結果、上土幌~三股間に34橋梁が保存された。 道東には数少ない戦前の土木遺産、産業遺産である。

- 厳しい自然条件の中で建設された大きなアーチ橋として北海道で最も古く、他のアーチ橋の手本と なった。
- 昭和10年代から30年代と、第2次大戦前から戦後にかけて建設されたアーチ橋が多数残っている ため建設技術の変化を知ることができる。
- 周りの景色を壊さないように考えられて設計されていたことや当時の工事記録がしっかり残ってい



● 第3音更川橋梁

● タウシュベツ川橋梁

- 第5音更川橋梁





タウシュベツ川橋梁



第3音更川橋梁

#### とくに重要!

遺産を活用してどのよう なことをしていきたいのと

## ●アクションプラン【未来】

## 目指す将来像

資産リスト

(その遺産は将来、地域でど のような存在になるのか)

住民の思いによって残されたアーチ橋梁群を保存活動をとおして次世代に確実に引き継 いでいくとともに、新しい観光資源、生涯学習の題材等として活用しながら、地域の活 性化につなげていく。

# 具体的なアク ションプラン

(目指す将来像を具体的にど のように実現するか)

- ・旧国鉄士幌線跡地およびその周辺に残存するアーチ橋梁群の保存・利活用
- ・近代化遺産の保存・利活用を志す人たちとのネットワーク化の促進
- ・近代化遺産の保存・利活用に関する方法の調査・研究・情報収集
- パネル展やイベントの開催
- ・町民の学習活動をとおした地域の生涯学習における遺産の活用
- ・廃線跡を利用したトロッコ鉄道の運行
- ・産業遺産をめぐるツアーの展開(大規模フットパスのコースづくり) 等を通じて、全国の産業遺産活用のモデルを目指す。

### 地域づくりとの 関係

(その遺産が地域づくりにど のように貢献するか)

アーチ橋梁群を新たな観光資源、全国へ地域を PRする素材として様々な場面で活用していくこ とで、滞在型観光の促進につなげていく。

> 他の北海道遺産との連携 「ほっかいどう遺産WAON」 活用など北海道遺産に関わる企 業との連携など

### 北海道遺産協議 会の一員として の取組み

(協議会のメンバーとしてど のような活動の拡がりや発展 が期待できるか)

同じく鉄道をテーマとした北海道遺産、あ るいは同じ地域の北海道遺産と連携した テーマ・地域型の情報発信、イベントの開 催などを行っていきたい。